


陳述書

令和5年7月8日

住所 飯田市白山通り3丁目391-1

氏名

熊谷泰人 

- 1 私は、以前は、株式会社章設計（以下、「章設計」といいます。）の代表取締役をしていましたが、平成25年4月から飯田市市議会議員を務めており、現在は、市議会の議長を務めています。
- 2 章設計は、平成28年9月に、飯田市から、特養老人ホーム飯田荘の実施設計業務を受注しましたが、章設計の熊谷章文所長（以下、「熊谷所長」といいます。）から、飯田市が作成した基本計画には重大な瑕疵の問題があると聞いていました。

そして、平成28年11月の初め頃、熊谷所長から、「市長へ要望書を陳情したいので相談に乗って欲しい。」との電話があり、章設計に向きました。そうしたところ、熊谷所長は、私に要望書を見せて、「地域計画課長の指示に従って要望書を提出したが、牧野市長は選挙中であって、目を通してない中で回答された。直接、牧野市長に提出できないか。」と相談されたので、私は、これを了解しました。

そこで、私は、市の職員に聞いたところ、飯田市の地域計画課は建設部の所属であるとのことだったので、木下悦夫建設部長（以下、「木下建設部長」といいます。）に、「章設計が直接、牧野市長に要望書を提出したいと言っている。」と話したところ、木下建設部長は、「佐藤副

市長に話をしてみます。」とのことでしたので、木下建設部長にお任せしました。

その後の平成28年11月17日頃、木下建設部長から熊谷所長に連絡が行き、話し合いがもたれたようですが、その話し合いの翌日に、木下建設部長が章設計に出向かれ、「基本設計図面を誰が書いたのか平井に聞いたが何も話さない」「地域計画課は解体するし、入札制度も改めると副市長は言っている。」との話があったと、熊谷所長から聞きました。

- 3 私は、平成28年12月28日に章設計に出社したところ、午前11時頃に、木下建設部長が章設計の事務所を訪ねて来られたので、私が木下建設部長を玄関で出迎えたところ、木下建設部長が章設計の熊谷所長に話があるというので、私が木下建設部長を応接室に案内し、熊谷所長に、「所長、木下建設部長ですが話があるそうです。」と伝え、また、木下建設部長には、「私が同席しない方がよろしいですね。」と声を掛けました。

私は、木下部長と熊谷所長が応接室で話をしている間、章設計の板倉正明社長（以下、「板倉社長」といいます。）と一緒に、応接室と衝立（パーテーション）で仕切られた隣の事務室でお茶を飲んでいましたが、木下部長と熊谷所長の話が聞こえました。そして、私が二人の話しを聞いていたところ、木下建設部長は、「敷地は平らにしてもらって、鉄骨造は止めて木造にしても良いです。既存の擁壁は壊しても良いし、工期はいつまででもよい。6月までに県に補助金申請をすれば間に合うので、市長が県に行って謝ればことは済む。章設計の提案は全て了解するが、居室の相向かいだけは飯田荘の要望なので、検討してもらえないか。」などと話しており、それに対して、熊谷所長は、「居室の向き

が重要です。これからは平井監督員と飯田荘の三者で進めさせてください。」などと話していました。

すると、熊谷所長が木下建設部長をそのままにして、私と板倉社長のところに来て、「木下部長から、『章設計の提案はすべて受け付ける。工期はいつまででもよい。』と言われたが、『相向かいの居室は飯田荘の希望だ。』と言っている。居室を東側に向けるのは飯田荘の要望なので、これからは平井監督員と飯田荘の担当者の三人で設計を進めさせてくださいとお願いした。」と話されました。

私は、熊谷所長から木下建設部長との話しを聞き、これで章設計と飯田市との間の問題が少しでも進展すればよいと思いました。

その後、しばらくして、木下建設部長は帰っていきました。